

若いオスのアシカ達は  
好奇心満点。その笑顔  
に出会ったら微笑まずに  
はいられない



2009年  
アシカスイムツアー  
より



パースの街並みはとも美しい

Sea lion swim in Western Australia

# 笑顔のアシカに 会いに行く。

西オーストラリアの玄関口であるパースから、  
ボートに乗ること30分ほどで到着するカナック島。  
パースの街並みがハッキリと見えるほど程近いこの島には、  
日本の冬に当たる時期に雄の若いアシカ達が集まる。  
フレンドリーで懐っこいアシカと戯れる時間を、  
まずはWEB上で堪能してください。



カナック島に到着し、  
スノーケリングで海  
に飛び込む





正座してお出迎え。  
「皆さんお待ちしております」



上目遣いもお手のもの。  
「いらっやい〜」



フィン好きのアシカ君。  
「もっと遊んでくれ〜」

ようこそ  
パースへ！





ちょっと一息つきま  
しょうね

アシカのひとり言。  
「おっ!回ってみるつ  
もり?」

「遊んで遊んで!!」



アシカのひとり言。  
「なかなか泳ぎ上  
手いやん」



アシカのひとり言。  
「ほな、さいなら  
~!」

アシカと  
踊る!

**カ** ナック島でのアシカスイムはスキンドイ  
ビングとなる。基本的に島には上陸すること  
ができないので、波打ち際で優雅に寝そべるアシカ  
達が海に入ってくるタイミングを待つて、一緒に泳ぐこ  
とになる。しかしながら、どのタイミングで海に入つて  
くるかはアシカ様の気分次第。現地ガイドさんが「声を  
かけると入って来てくれるんですよ」と言われ、皆で横  
一列に並んで「おーい! おいでおいで~」と叫んでみたり、  
彼等の気を引くために飛び跳ねたり、色気で誘つて  
みたりと、ハタから引いて見たらかなり面白い光景だつ

たと思う。でも、そんな面白い人々に興味を示したの  
か、のそのそと海に入ってくるアシカ達は、一度入水し  
てしまえばかなり長い時間一緒に遊んでくれる。クルクル  
回り、海草の絨毯で寝そべったり、鼻息を出したりと、  
かなりの芸達者ぶり。一度に数頭のアシカ達が入つて  
くることもあり、各々お気に入りのアシカ達と踊り続け  
ていた。





「早く泳がないと逃げちゃうよーん」

アシカの気を引くために飛ぶ!



そして誘う……。



「じゃ、おやすみー」



「しょうがないから遊んであげるよー」



「ぶふーん。あぁなんか眠くなってきたわぁ」



笑顔のアシカに会いに行く。  
**Sea lion swim in Western Australia**  
 Web-lue 2009. Summer



竹内美加さん 撮影



加藤玲子さん 撮影



酒井由紀代さん 撮影



アシカとみんなの時間

笑顔のアシカに会いに行く。  
Sea lion swim in Western Australia  
Web-lue 2009. Summer





アシカ  
スマイルの  
感想！



伊藤千鶴子さん

アシカとはとにかくかわいい!そしてかっこいい!! くりくりとした目で見つめられるとかわい過ぎて思わず顔がにやけてしまいました。ほんとレトリバーみたいで、お〜よしよし〜(←ムツゴロウさん風) 一つしたくなる感じです。でも海の中を自由自在に飛ぶように泳ぐ流線型の彼らはかっこいい!! 光が差し込む中、水を切っていく彼らに見とれてしまいました。

初めてのオーストラリアでしたが、すぐに広い大地とTake it easyな感覚が大好きになりました。シンガポールからだったこともあり、思った以上の寒さにちよつとびつくりしましたが 毎回のようイルカが現れてくれたり、蜃気楼が見れたり、パースの街もとてもきれいでクールで、ごはんもおいしくて、そして何よりアシカが素敵で夢のような時間でした。ご一緒してくださった皆様にもほんとと良くしていただき感謝しています。ありがとうございました!! 来年はもっとゆつくり行きたいです。

武田弥生さん

その日まで、私はその生き物を、何度も見て知っていました。

TVや映画で、その目まぐるしいほどの動きを何度も見ていたし、プロが捕らえた決定的な瞬間を、何枚もの写真で見っていました。ナマの姿だって、水族館で何度も見ていました。だから、アシカがかわいいことになって、「当然、知ってる♪」と、何の迷いもなく信じていました。でも……。それは間違いない。

南半球のあの小さな島で、私は自分の思い違いに気がきました。自分からすり寄って、まわり付き、顔をのぞき込む愛らしさは、全く異次元。アシカ、一見に如かず。

歓喜と幸せに満ちた数日間でした。



笑顔のアシカに会いに行く。  
Sea lion swim in Western Australia  
Web-lue 2009. Summer



Information Link  
[http://www.web-lue.com/special-trip/categorise/australia/2008\\_1.html](http://www.web-lue.com/special-trip/categorise/australia/2008_1.html)

← 関連情報HPへ



竹内美加さん

一生懸命泳いでアシカの後ろを歩いて行くと、海の中の草原に彼は滑り込み、澄んだクリクリした瞳でこちらを振り向いた。目が合った……ドキュン！その愛くるしいまなざしにイチコロ～。さあ、ついておいで～と言わんばかりにこちらを振り返り泳いで行く。

沖の方へ出て自由に、かなりのスピードで旋回したり、50cm程の浅瀬で太陽の光の中キスしてくれたり、そして何度も何度もマスクの中をのぞいて来たり、フィンを甘噛みしたり。そのフレンドリーな甘えっぷりはたまらなく可愛い～。子供の頃のように毎日遊び疲れて帰る……。港に近づくと毎日イルカが10頭ぐらい遊びに来てくれる「MIKAまたドルフィンに電話したのね～」と船のクルーが笑った……。

仁科亜矢さん

アシカはほんと可愛い！マスクに顔押し付けてきたり、水際で体ポリポリ掻いて寝たり(笑)水中で、海藻の上にゴロンとしてくれるので、写真の下手な私にも、少しはまともに撮れました。カーナック島までの行き帰り、ほぼ毎日イルカも見れたし、現地スタッフのみなさん、今回参加した皆さん、優しくたし強烈だったしおもしろかったです。(笑)水中アシカ&水中イルカに遭遇したかったなあ。



加藤玲子さん

スキューバダイビング自信がなかったですが、島の周りで水深も浅かったので心配はなかったです。アシカは、期待以上に可愛くて夢中になりました。犬みたいだと聞いていましたがそのとおりで、個体ごとに性格が違っているように感じました。泳ぎの上手な現地スタッフがアシカを誘導してくれたり、なかなか水中に入って来てくれないアシカをみんなで呼んだりしたのも楽しかったです。

パースは、近代的なビルと英国風の街並みが同居し、川と湖と緑に恵まれた素敵な街でした。果物や乳製品が豊富で美味しいのもうれしく、お洒落で美味しいカフェも多かったです。機会があったら是非また行きたいです。



酒井由紀代さん

念願のアシカスイムは、想像以上に最高でした♪フレンドリーなアシカちゃんと、一緒に水の中に入れて幸せでした。また来年も参加したいと思っています。水中に住むワンコと遊んでみたいでした。哺乳類同士、意思が通じる瞬間が最高です！海獣LOVE!ドルフィンスイムと比較して水深が浅いし、ワザも必要ないので、どなたでも気軽に楽しめると思います。

パースの街もコジマリとしていて過ごしやすかったです。食事も美味しかったです。エスペランスからの参加で時間があったのでブラックスワンレイク、水族館も行けました。すごくよかったです。最終日のワイナリーツアーでの木陰でのランチには癒されました。あ～ゆ～場所、大好きです。



生田智久さん

昨年に続いて2回目の参加となった。水中を自由に泳ぎ回ることが好きな僕にとって、パースのアシカ達に会うのは、パハマのイルカ達に会うのと同様に、毎年待ち遠しい楽しいイベントになっている。

フィンが多少ぶつかったくらいは気にする様子も無く、顔には目立つ大きな傷があつたりして、こんなに無防備にべたべたくっついてきて君ら大丈夫なの？と、ちょっと心配になるほど。

浅場の安心感からちょっと激しく泳いでみると、とたんに狂喜した感じでぐるぐると泳ぎ出す。海面からのジャンプを繰り返しながら高速周回したり、軟らかに体を反らせて高速回転したり、おっとりした泳ぎからの豹変ぶりと乗りのよさに楽しくなって、さらに騒ぎを煽りたくなる。こちらの誘いに盛大に応じてくれることがとてもうれしい。

砂浜ではいつも気だるそうにごろごろと居眠りをしていて、海まで誘い込むのに苦労する場合も多いけど、水中にいる時のたつぷりの愛嬌と、思う存分に遊び相手になってくれる愛想のよさとに、もっと多くの人が魅了されるといいなと思う。

内藤公子さん



三輪正子さん



# Guest Voice

アシカ  
スマイルの  
感想！

笑顔のアシカに会いに行く。

## Sea lion swim in Western Australia

Web-lue 2009. Summer



パースは世界で最も住みやすい街の一つとして挙げられる、美しく穏やかな都市だ。高層ビルが建ち並びながらも、海や緑が調和していて、誰もが穏やかな気分になれるだろう。数々のレストランや洒落たカフェなども沢山あり、生活のし易さは抜群で、思わずこのままここに住んでしまいたくなる衝動にかられる。アシカスイムの最終日には、そんなパースの街を散策してみよう。可愛いワラビーやウォンバット、タスマニアンデビルなどのユニークな動物と触れ合うことが出来る動物園や、パースの街には歴史のあるワイナリーやチョコ

# Town Walking

レート工場などもあり、テイastingも楽しめ、ブドウ畑の中にある屋外レストランでゆっくりランチを楽しむことが出来る。アシカスイム以外にも、なかなか日本では、味わうことの出来ない体験が目白押しなのである。



円らな瞳の  
タスマニアンデビル

パースの街を  
テクテク  
歩く

- 01.、ワラビーの子供は本当に可愛い
- 02.「恥ずかしい!」と顔を隠すカンガルー
03. オーストラリアといったらコアラでしょう
04. お楽しみのテイastingタイム。どれも美味しい……

## ツアーインフォメーション Tour Information

### 2010年パースアシカスイムツアー 参加者募集中

2010年2/6(土)～2/14(日)の9日間。最小催行人数12名。移動日をのぞき基本的に毎日アシカスイムに出ます。スイムの時間は一日辺り約5時間ほど。現地合流や途中帰国、延長などのアレンジも可能。希望者の人数がまとまれば、アシカスイム期間の前後にオプションでリーフシードラゴンのダイビングツアー(最小4名～)も開催します。費用は日数によって変わります。お気軽にお問い合わせ下さい。

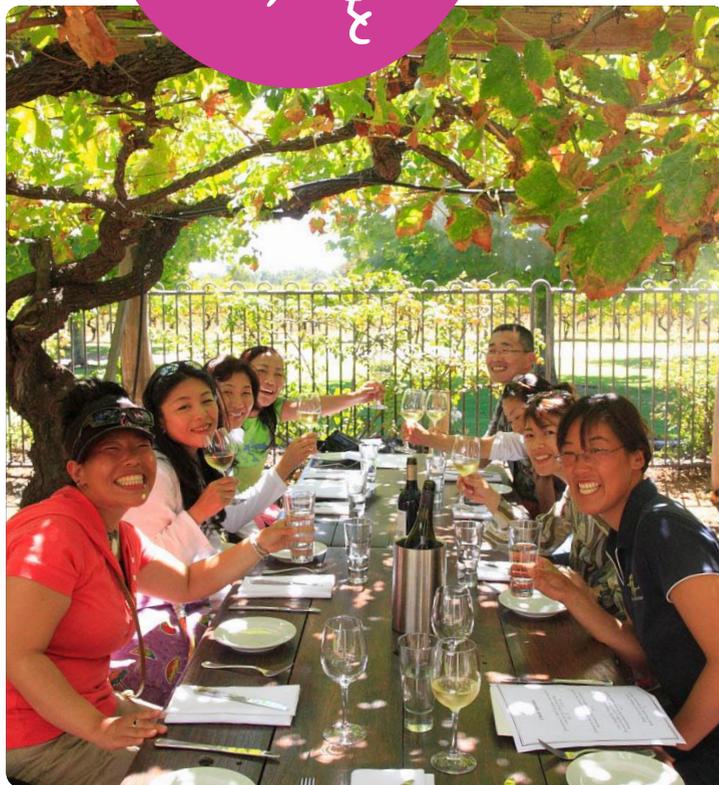
ご予約、お問い合わせはこちら、件名を「2010年アシカスイム問い合わせ」として送信ください。kyu@web-lue.com

## Sea lion swim Information

朝ホテルのエンタランスに集合し、車で20分ほどの港へ移動し、チャーター船に乗り込み出航。30分ほどでアシカスイムのゲレンデとなるカナック島へ到着。アシカスイムは基本的にスキンドビングのみ。天気や海況にもよるのだが、毎日約4～5時間は泳ぐことが出来る。島への上陸は固く禁止されているため、波打ち際はガイドよりも浅場には行かないように注意したい。昼食やトイレなどの休憩は停泊しているボートに戻るとるかたちになる。アシカ達も常にハイスピードで泳ぎ続けるわけではなく、我々の様子を見ながらまわり付くように近寄ってきてくれるので、普通の泳力があれば充分楽しむことが出来る。シーズンのには夏なので紫外線なども強い。日焼け止めなどは必須。空気は非常に乾燥していて、日中でも休憩時など身体が濡れた状態では、風が肌寒く感じることがあるので、ポートコートなどがあると便利。日中は暑いのだが朝晩は冷え込むこともあるので、長袖フリースなどもあると助かる。水温は23～25℃ほどなので、5mmワンピースとフードベストなどのインナーも用意しておきたい。



白い格好のウォンバットとイケメン兄さんと記念撮影



お洒落なレストランで優雅なランチタイムをどうぞ



ワインボトルがズラリと並んでいます



過去のアシカスイムの記事はこちら……  
<http://www.web-lue.com/magazine/categorise/perth/index.php>

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

笑顔のアシカに会いに行く。  
Sea lion swim in Western Australia  
Web-lue 2009. Summer



Information Link  
[http://www.web-lue.com/special-trip/categorise/australia/2008\\_1.html](http://www.web-lue.com/special-trip/categorise/australia/2008_1.html)

← 関連情報HPへ